

ゆくはし屋根のない博物館 ～市民学芸員の会の活動について～

行橋市 屋根のない博物館市民学芸員の会【公立公民館】
会長 森 岑而

1. 事業名 ゆくはし屋根のない博物館「市民学芸員の会」
2. 事業の目的
歴史資料館と市民との架け橋役となり歴史と伝統に溢れた行橋市の文化財や史跡をボランティアガイドし、会員相互の歴史知識の研鑽を図る。
3. 事業の実施主体
ゆくはし屋根のない博物館「市民学芸員の会」が自主的に企画運営を実施している。
(ただし行橋市歴史資料館及び文化課と協働しているが行政主導の活動ではない。)
4. 連帯・協力機関・団体等
行橋市歴史資料館、行橋市教育委員会文化課、行橋市商業観光課、社会福祉法人行橋市社会福祉協議会、行橋市文化振興公社
5. 事業予算 166,000円(29年度予算)
6. 実施に至る経緯
従来行橋市になかった歴史・文化を案内する組織として、平成17年4月に設立された。市内各所点在する文化遺産を見学対象地として、行橋市全体を「ゆくはし屋根のない博物館」と見立て、そこをガイドするボランティア団体である。
組織は、決められた研修と実地研修を経て「市民学芸員」となる制度を導入している。市民を対象とする歴史探訪ツアー「市民学芸員と歩く ゆくはし探訪」は平成21年度から開始した。また、平成25年度からは小・中学生を対象とした「ゆくはし探検」もスタートし、将来を担う子どもたちの育成と身近な史跡を歴史文化にふれることによって、郷土の誇りを持ってもらう機会をつくっている。
定期的に行うガイド活動以外にも、不定期の見学者案内、歴史資料館での展示活動支援、観光ツアーの受け入れのための観光資源の整備・清掃活動にも積極的に取り組んでいる。
7. プログラム作成の視点
定期的に行われる主な年間行事のプログラムは、「市民学芸員と歩く ゆくはし探訪」3回、「ゆくはし探検「ジュニア学芸員をめざそう」」1回である。
それらのプログラムを作成する際には、学芸員自らの研鑽と市民が歴史文化に興味を持つタイムリーな素材を選ぶよう心掛けている。また、限られた予算を有効に使うために、市のバスを使用したり、行政職員や歴史資料館職員の応援を頼むことができるように開催日・場所などを検討したりしている。
また、不定期の見学の要望にも対応している。案内に際してはさまざまな案内プログラムの準備が必要となるが、今までの説明資料や見学地の資料を準備し、要望に応えら

れるようにしている。

さらに、毎月1回の定例会と役員会及び企画委員会を開き、年間10回のふるさと歴史講座を受講している。

8. 事業の内容

①市民向けの歴史探訪ツアーの開催（平成29年度実績）

「市民学芸員と歩くゆくはし探訪」（年3回だが第3回目はこれから実施する）

名 称	月 日	場 所	参加人数	備考
第1回「ふるさと行橋史跡めぐり」	6/25 午前 午後	ヤヨミ園遺跡、ピリリカ古墳、正受寺、福原長者原遺跡、国府の郷など	一般:41名 市民学芸員:17名	写真1
第2回「世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島を学ぼう」	11/5	海の道むなかた館、宗像大社、新原奴山古墳群、道の駅むなかた	一般:36名 市民学芸員:5名	写真2

②小中学生向けの郷土の歴史に関心を持ってもらうためのイベントの開催

「ゆくはし探検」（年1回）

名 称	月 日	場 所	参加人数	備考
「伊良原ダムをのぞいてみよう」	8/18	みやこ町歴史民俗博物館、伊良原ダム、伊良原学園、蛇淵の滝、永沼家住宅	一般:52名 市民学芸員:18名	写真3

③ガイド活動（市民向け・市外からの来訪者向け）

平成29年度現在までの実績 628名

④行橋市歴史資料館での展示支援（展示品入替え、清掃作業、飾り付け等）

月 日	内 容	人数	備考
6/28～6/29	企画展「千田家寄贈品展Ⅱ」開催に伴う展示入れ替え	10名	写真4
7/31	企画展「千田家寄贈品展Ⅱ」終了に伴う展示入れ替え	11名	
10/9	特別展「邪馬台国時代の豊」開催に伴う展示入れ替え	10名	
10/21	特別展「邪馬台国時代の豊」記念講演会の会場設営	12名	

⑤馬ヶ岳城をはじめとする観光資源の整備（山道整備、草刈・清掃作業、手すりの取り付け、案内板の設置などの観光受け入れのための環境づくり）

月 日	場 所	人数	備考
10/18	馬ヶ岳	10名	写真5

⑥行橋市教育委員会生涯学習課 中央公民館主催 市民大学「歴史ロマン探訪講座」の現地案内

月 日	内 容	人数	備考
6/16	福原長者原遺跡現地案内（前期）	40名	写真6
11/15	福原長者原遺跡現地案内（後期）	30名	
12/10	郷土の歴史をめぐる（京築カルタの説明と学習）	40名	

⑦他団体との連携した地域づくり活動

毎年ではないが行橋市子ども会育成連合会からの案内・説明依頼に対応している。

9. 事業の成果

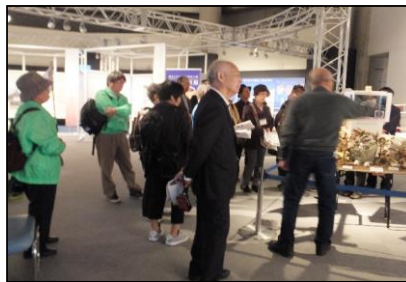
- 市民の歴史・文化への関心が深まることへの貢献。
……活動を通して市民に歴史・文化に関心を持つ方が増加した。
- 行政の文化遺産保護に影響を与えた。
……ボランティア活動で文化遺産の清掃を行う活動が行政の方にも活動の後押しをする機運を生んだ。
- 会員各自の研鑽が積まれた。
……説明をすることで自分たち自身がやりがい、生きがいを持つようになった。
- 地域の枠組みを広げることができた。
……周辺の他団体との交流、或は自らが出向いて市域外の説明を行うことによって、市民にも広域的な活動をする団体として認識されつつある。

10. 今後の課題

市民学芸員の会ができて12年が経過し新しい会員、それも現役世代の会員が集まりにくく、高齢化が進んでいる。また、案内が広範囲になってきたことで、行き届いた清掃、整備に限界がある。



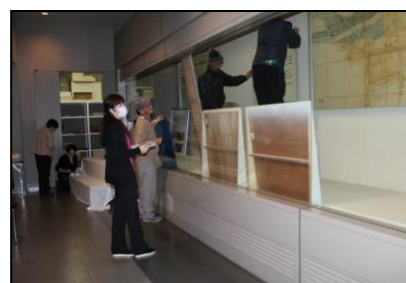
【写真1：第1回「ふるさと行橋史跡めぐり」】



【写真2：第2回「世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島を学ぼう】



【写真3：「伊良原ダムをのぞいてみよう」】



【写真4：行橋市歴史資料館展示支援】



【写真5：馬ヶ岳城の清掃・整備】



【写真6：市民大学「歴史ロマン探訪講座」案内】